

氏名	星野 純子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	緩和ケア、地域看護学				
学位	修士（人間福祉学）				
学歴	1987年埼玉県立衛生短期大学第1看護学科卒業、1988年同地域看護学専攻修了、2018年聖学院大学大学院人間福祉学 研究科修士課程修了				
経歴	1999年埼玉県立大学短期大学部看護学科助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006年埼玉県立 大学地域産学連携センター認定看護師教育課程（緩和ケアコース）専任教員兼務、2018年埼玉県立大学保健医療福祉 学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本在宅ケア学会、日本看護教育学会、日本看護管理学				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	在宅で看取った遺族が考える「望ましい看取り」	共同	第24回日本在宅ケア学会学術集会	○星野純子、山口乃生子、會田みゆき、田上豊、延原弘章	2019.7	
2	在宅でGood deathを支える訪問看護師の姿勢と看護基礎教育への期待	共同	第24回日本在宅ケア学会学術集会	○黒田真由美、常盤文枝、星野純子	2019.7	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		地域包括緩和ケアの充実に向けた家族への教育支援プログラムの開発	研究代表者	2016.4～2020.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	地域看護学Ⅰ	○	7	1年次生の前期科目のため、地域や看護のイメージがもてるよう丁寧に進めた		
2	在宅看護学	○	13	3年次生が在宅看護をイメージできるよう、DVDや事例を取り入れた。グループワークによる看護過程の展開を行うことで在宅看護への理解が深まった		
3	がん看護		4	がん体験者と家族に参加してもらい、実際の体験を語ってもらうことにより学生の理解が深まった		
4	スタートアップセミナー		20	看護学科編入生に対し主体的に学べるよう独自のプログラムを作成した		
5	がん看護学特論（大学院）		4	がん看護の基盤となる主な理論として、ナラティブアプローチ、家族看護、喪失・悲嘆、トータルペインについて担当した。院生のプレゼンをもとに討議できるよう支援した		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	がん看護学演習（大学院）		15	院生2名に対しがん看護領域における研究計画が立案できるよう、助言指導した。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習		2019.5～2019.6	4年次生9名に対し、3か所の保健センターにおいて実習指導を行った結果、期待した学習効果が得られた
2	総合実習		2019.7～2019.8	4年次生3名に対し2か所の訪問看護ステーションでの実習指導を行った結果、学生は自己の目標を達成することができた
3	在宅看護学実習		2019.10～2019.12	今年度から始まった地域連携室での実習では、目標が達成できるよう、指導者と連携を密に取り学生を支援した
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導	6名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	4年次編入生への進路、生活相談	2019.4～2020.3	担任として、就職・進学および生活への指導を行った	
2	認定看護師更新審査への支援	2019.4～2019.6	緩和ケア認定看護師および訪問看護認定看護師に対し、更新審査に必要な事例のまとめについて指導した	
3	認定看護師認定審査不合格者への対応	2019.7～2020.3	不合格者に対し、試験の振り返り、学習の仕方について教授するとともに、定期的に連絡を取り、学習支援を行った	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護学生実習指導者講習会	埼玉県看護協会	在宅看護論実習の展開	2019.6
2	一般研修	埼玉県看護協会	エンド・オブ・ライフケア	2019.11
3	専門職公開講座	埼玉県立大学認定 看護師教育課程	緩和ケア認定看護師フォローアップ研修「看護師のための 瞑想法、緩和ケアにおける精神的ケアを学ぼう」	2019.9
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県看護協会	地区理事		2018.6～2020.6
2	埼玉県在宅を支える認定看護師会	顧問		2019.4～2020.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	がん体験者と家族	大学で行う緩和ケアサロン（年6回）	2019.5～2020.3
2	地域貢献活動	埼玉県青少年課	リアル体験教室「看護師になりたい」	2019.11
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会		2018.4～2020.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画推進委員会 相談員（介護関係）		2019.4～2020.3
3	学生支援	4年次編入生担任		2018.4～2020.3
4	学長指定プロジェクトへの関与	研究開発センターA-2プロジェクト「人生の最終段階に向けた医療・ケアに関する住民の意思表示プロセスを推進する研修プログラムの開発」メンバー		2019.10～
5	学生支援	オープンキャンパス		2019.8
6	学生支援	大学院説明会		2019.12
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			

8. 特記事項	
---------	--

1	該当なし
---	------